

## e-教科書実践授業報告メモ（第2回e-教科書研究会報告用）

記入日:2004.12.6

報告書者(所属/氏名):横浜市立大口台小学校(佐藤 幸江)

### 1. 実践授業の概要

#### 1.1 学校名・日付・対象学年等

○大口台小学校（11月26日：小学校6年国語/光村図書出版）

#### 1.2 実践授業で活用したe-教科書およびコンテンツ

光村図書 デジタル教科書 「言葉っておもしろいな」 ⇔

- ・教科書ビュー…読み取りの根拠の確認
- ・本文ビュー …課題の提示
- ・漢字…筆順の確認

黒板には…  
挿し絵  
本時の課題  
子どもたちの意見

### 2. 実践でわかったこと

#### 2.1 IT活用の効果について(記述式)

○子どもたちの視線や意識の集中

国語では、特に「教科書のどこの表現をさしているのか」を共通理解する必要があるため、そこに集中することができる。また、漢字学習の筆順の理解では、理解の遅れ気味な子どもたちが指先に意識を集中し、体で覚えている様子が見られた。



○課題提示や説明などで工夫ができる

考えてほしい教材文の文字にマスキングし、それを消すことで答えが出てくるのはデジタル教科書ならではの。

○グループでの学習に活用できる

今回は、教師が活用したが、子どもたちがグループで討議する場面などでも活用できる。

○画像・動画の提示用には、画質もよく、大変クリアで見やすい。

#### 2.2 実施した授業における狙いと評価(評価の4観点に◎、○、△、無印をつける)

(1) 実践前の狙い

- ①関心・意欲・態度 (◎)    ②思考・判断 (○)    ③技能・表現 (◎)    ④知識・理解 (○)

(2) 実践後の評価

- ①関心・意欲・態度 (◎)    ②思考・判断 (○)    ③技能・表現 (○)    ④知識・理解 (○)

#### 2.3 課題について

(1) e-教科書の機能：

○子どもたちに見えやすい  
デジタル教科書の文字の  
大きさは？  
拡大もできるが…。

○本文ビューは、どうい  
まともになっているの  
が活用しやすいのか？

○操作パネルに必要な機能は？  
・色数    ・ペンの太さ

(2) e-黒板との併用で：

○デジタル教科書の画面との切り替えの煩雑さ。

ある部分の拡大、前時の学習の保存などは必要な機能であるが、デジタル教科書側ではできなかつた。そこで、電子情報ボードの機能を活用せざるを得ないが、行ったり来たりしているうちに、どちらの画面を出しているか操作している側が分かりづらくなる。

(操作パネルも2つあるので。)

○板書との併用は欠かせないが、電子情報ボードを置く場所の問題。

電子情報ボードの画面の大きさ(画像には適度。文字にはもう少し大きさがほしい。)

黒板前は、動きがあるので、大きな足が邪魔になることが多い。

ストーブとの関係。

○まだまだチョークのように使えない。

(3) 活用方法に関して：

○教師が授業をどのようにデザインするか考えないと、デジタル教科書のデジタルコンテンツを見せて「子どもたちに理解させたつもり、子どもたちも分かったつもり」にさせてしまう恐れがある。

(4) 学校のIT環境関連で：

○黒板にマグネットスクリーンを貼り、プロジェクタで教科書を映して、書き込みをすることもできる。今後は、デジタル教科書のウリとしては、保存・紙ベースでの出力、教師のニーズに応じたデジタルコンテンツの掲載などになるかと思う。

(5) 教員のITスキル：

○文字を書くこと・画面の切り替え・操作パネルの活用などに、ある程度の慣れが必要。

(6) 国および地方自治体の予算：

○来年度は、教科書の改訂の年度であるが、予算は削られている。

○2005年の教室環境を整備するところまでいっておらず、まだまだ電磁情報ボードを購入できる環境にない。

(7) その他：

### 3. その他(所感等)

本学級の子どもたちは、なかなか自信をもてずにおりました。けれども、今回の授業で、大勢のギャラリーに圧倒され、意見を言うことができなかつたは「自信がない」ことに起因しているということをみんなで再確認することができました。卒業までに、何か自信がもてるものを見つけようという話し合い、最近の授業では意欲的に事前学習をしてきたり発言したりという姿が多くなってきました。このような場を提供いただきましたCECの皆様に、感謝いたします。

最後になりましたが、今回の授業研究会に際し、光村図書様よりデジタル教科書の提供・指導へのアドバイスを、また、パイオニア様より電子情報ボードとコンピュータの提供をいただきました。感謝いたします。